

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月23日		(火)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)									
	発生場所	1号機周辺ヤード						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16	
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/16		測定者			測定器名	電 離 箱		管理番号	F1-ICWBL-133
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物:紙・ウェス類				A 01 W B	3 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02 W B	7 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	可燃物:可燃物その他(トナ)				A 04 W B	2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	4	不燃物:不燃物その他(防災シート)				B 10 W B	6 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0493
				2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
						D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0494
				2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月24日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	土捨場					2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16	
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/16	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-422	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	金属ガラ			① B 01 ② D ③ B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
注:	α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止						m ²			
								m ²			
								m ²			
								m ²			
								m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0019

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	立入制限区域柵周辺フェーシング工事(Ⅰ期)								
	発生場所	5・6号機東側防護フェンス周辺エリア						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/16	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-134
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	フレコンバック(廃プラ)	A	02	D	A	3 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0497
				2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フレコンバック(廃プラ)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 8:10	3.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0019

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	立入制限区域柵周辺フェーシング工事(I期)										
	発生場所	5・6号機東側防護フェンス周辺エリア						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/1/16		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-134	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	フレコンバック(廃プラ)			A	02	D	A	3 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0498
				2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月24日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フレコンバック(廃プラ)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 11:00	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/1/15	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	木材類	A	03	W	B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0501	2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月24日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年1月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月23日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託										
	発生場所	車両サーベヤ場南側						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19		
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/1/18	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-080		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	金属ガラ			B	01	D	A	14 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
2								m ²				
3								m ²				
4								m ²				
5								m ²				
メモ	※金属ガラ(7m3ノッチタンク2基)収納済み。また、タンク種類及びサイズは 瓦礫受取担当者様と調整済み											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0507	2018/1/22
調整後保管日時		2018年1月23日		10:00	
【保管時の指示事項等】					
保管物の搬入は、事前に 瓦礫受取担当者様と調整のうえ持込み願います。					

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月23日		(火)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
	発生場所	車両サーベイ場南側						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	ICWBH		管理番号	ICWBH-025
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	A	42 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	※金属ガラ(7m3ノッチタンク6基)になります。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0508
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月23日		13:00
【保管時の指示事項等】				
保管物の搬入は、事前に 瓦礫受取担当者様と調整のうえ持込み願います。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0509
				2018/1/23
調整後保管日時		2018年1月24日		12:30
【保管時の指示事項等】				
保管物の搬入は、事前に 瓦礫受取担当者様と調整のうえ持込み願います。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
	発生場所	車両サーベイ場南側					2018/1/23	2018/1/23	2018/1/23		
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者		測定器名	ICWBH	管理番号	ICWBH-025			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	28 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	※金属ガラ(7m3ノッチタンク4基)収納済み。また、タンク種類及びサイズは 瓦礫受取担当者様と調整済み										

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	7m3ノッチタンク	8 μSv/h	8 μSv/h	8 μSv/h	エリアWI	2018/1/24 12:00	7 m ²			1
	1	2	7m3ノッチタンク	8 μSv/h	8 μSv/h	8 μSv/h	エリアWI	2018/1/24 12:00	7 m ²			1
	1	3	7m3ノッチタンク	8 μSv/h	8 μSv/h	10 μSv/h	エリアWI	2018/1/24 12:00	7 m ²			1
	1	4	7m3ノッチタンク	8 μSv/h	8 μSv/h	10 μSv/h	エリアWI	2018/1/24 12:00	7 m ²			1
	1	5	7m3ノッチタンク	8 μSv/h	8 μSv/h	10 μSv/h	エリアWI	2018/1/24 12:00	7 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記の保管物は7m3ノッチタンク6基に分けて収納											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ³				
	7					m ³				
	8					m ³				
	9					m ³				
	10					m ³				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0509

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	7m3ノッチタンク	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアW1	2018/1/24 12:00	7 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		状 態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
	発生場所	車両サーベイ場南側				2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16		
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	ICWBH		管理番号	ICWBH-025
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ		①	②	③	21 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
※金属ガラ(7m3ノッチタンク3基)になります。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0510
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月24日		12:30
【保管時の指示事項等】				
保管物の搬入は、事前に 瓦礫受取担当者様と調整のうえ持込み願います。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月26日			(金)	8:30			承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託										
	発生場所	車両サーベイ場南側							2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/1/11		測定者			測定器名	ICWBH		管理番号	ICWBH-025	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ			B	01	D	A	21 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
※金属ガラ(7m3/ノッチタンク3基)になります。												

線量測定内容											
測定日	2018年1月26日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-55								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	7	μ Sv/h								
	1	1	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h			エリアC	2018/1/26 8:50	14 m ²			1
	1	2	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h			エリアC	2018/1/26 9:10	7 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001			
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月26日		(金)	9:00		承認		審査	作成		
	作業件名		構内所在不明物品の片付け業務委託										
	発生場所		車両サーベイ場南側				2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16				
	作業主管G		工事基盤整備グループ				監理員		TEL				
	元請会社						担当者		TEL				
	線量測定年月日		2018/1/11		測定者		測定器名		ICWBH		管理番号	ICWBH-025	
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		
				①	②	③					$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	21	m ³	0.02	mSv/h	0.03	mSv/h	無
	2							m ³					
3							m ³						
4							m ³						
5							m ³						
※金属ガラ(7m3ノッチタンク3基)になります。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0512
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				
保管物の搬入は、事前に 瓦礫受取担当者様と調整のうえ持込み願います。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	7	μ Sv/h								
	1	1	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h			エリアC	2018/1/26 9:25	7	m ³		1
	1	2	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h			エリアC	2018/1/26 9:25	14	m ³		1
													m ³		
													m ³		
													m ³		
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
①	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001																									
作業主管理	保管希望日時	2018年1月26日			(金)	9:00		承認	審査	作成																									
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託																																	
	発生場所	水素トレーラーエリア							2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25																								
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL																										
	元請会社					担当者			TEL																										
線量測定	線量測定年月日	2018/1/22		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80																								
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																										
	① ② ③																																		
	1	保温材	B	06	D	A	36 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h																								
	2						m ²																												
3						m ²																													
4						m ²																													
5						m ²																													
※6m3コンテナ6基(借用済)を運搬します																																			
<div> <div> <div>線量測定内容</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月26日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-105</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>												測定日	2018年1月26日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-105	2				3				4			
測定日	2018年1月26日																																		
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																
1		ICWBL	F1-ICWBL-105																																
2																																			
3																																			
4																																			
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																							
	1	1	保温材	8 μSv/h	8 μSv/h	10 μSv/h	エリアX	2018/1/26 8:50	6 m ²		ZK-00684	1																							
	1	2	保温材	8 μSv/h	8 μSv/h	10 μSv/h	エリアX	2018/1/26 8:50	6 m ²		ZK-00656	1																							
	1	3	保温材	8 μSv/h	10 μSv/h	12 μSv/h	エリアX	2018/1/26 8:50	6 m ²		ZK-00653	1																							
	1	4	保温材	8 μSv/h	8 μSv/h	8 μSv/h	エリアX	2018/1/26 8:50	6 m ²		ZK-00693	1																							
	1	5	保温材	8 μSv/h	10 μSv/h	12 μSv/h	エリアX	2018/1/26 8:50	6 m ²		ZK-00843	1																							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																			
上記の保管物は6m3コンテナ6基に分けて収納																																			
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																						
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																						
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																						
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																						
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																						
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																						
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																						
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																						
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																						
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																											
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																			

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6					m ²							
	7					m ²							
	8					m ²							
	9					m ²							
	10					m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0513

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0034	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機H2エリアタンク設置										
	発生場所	H2タンクエリア関係他						2018/1/17	2018/1/17	2018/1/17		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/1/10		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-113	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	保温材			B	06	D	B	5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	PE管材			C	04	D	B	3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3	ウエス			A	01	D	B	1.5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
4	難燃シート類			C	02	D	B	1.5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
5	金属ガラ			A	01	D	B	1.5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0517
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月24日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-120	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	PE管材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 12:55	2.7 m ²			2
	3	1	ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 12:55	0.05 m ²			1
	4	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 12:55	0.8 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	D	伐採木	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月26日		(金)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア						2018/1/17	2018/1/17	2018/1/17	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2017/12/13		測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	42 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	4. 22×10回										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0522
				2018/1/18
調整後保管日時		2018年1月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/26 8:00	5 m ²			1
	1	2	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/26 10:00	5 m ²			1
	1	3	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/26 11:00	5 m ²			2
	1	4	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/26 12:00	5 m ²			2
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012802 - 0049	
作業 主 管 G 記 入 欄 × モ	保管希望日時	2018年1月25日			(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	No. 2ろ過水タンク点検修理工事									
	発生場所	1F ろ過水タンクエリア					2018/1/17	2018/1/17	2018/1/17		
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/16	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-72		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
	2	金属ガラ	B	01	D	B	0.3 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
	3	ゴム	C	01	D	B	0.1 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
4	難燃シート	C	02	D	B	0.2 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無		
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0528
				2018/1/18
調整後保管日時		2018年1月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 × モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/25 9:05	0.7 m ²			2
2	1		金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/25 9:00	0.5 m ²			1
3	1		ゴム	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/25 9:05	0.05 m ²			2
4	1		難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/25 9:05	0.05 m ²			2
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05
				紙・ウエス類	プラスチック・ポリビニール類	木材類	可燃物その他	—
				—	—	—	—	—
				06	07	08	09	10
B	不 燃 物	01	02	03	04	05		
		金属ガラ	コンクリートガラ	機器類・制御盤類	土砂類	塩化ビニール類		
		06	07	08	09	10		
		保温材	石綿含有物	ケーブル類	アスファルトガラ	不燃物その他		
C	難 燃 物	11	12	13	14	15		
		フランジタンク本体	フランジタンク付属品	—	—	—		
		01	02	03	04	05		
		ゴム類	難燃シート類	ホース類	難燃物その他	—		
D	伐 採 木	01	02	03	04	05		
		伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—		
		01	02	03	04	05		
		状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 欄 × モ	保管希望日時	2018年1月25日		(木)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Con処理場エリア						2018/1/18	2018/1/18	2018/1/18
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/1/17	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-GMAD-132
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ B	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
4					m ³					
5					m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0538
				2018/1/18
調整後保管日時		2018年1月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 × モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/25 8:00	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/25 8:30	5 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/25 9:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

× モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6013101 - 0002			
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月25日			(木)		8:30			承認		審査		作成			
	作業件名		構内排水路清掃業務委託(毎年度)															
	発生場所		A・B・C・K・M系排水路										2018/1/19		2018/1/19		2018/1/18	
	作業主管G		土木保全・総括グループ					監理員			TEL							
	元請会社							担当者			TEL							
	線量測定年月日		2018/1/12		測定者					測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-120		
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率	
	1		土砂類			① B 04 ② W ③ A			8 m ²		0.01 mSv/h		0.02 mSv/h		無			
	2								m ²									
	3								m ²									
4								m ²										
5								m ²										
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																		

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0545	2018/1/19
調整後保管日時		2018年1月25日			8:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止									m ²				
												m ²				
												m ²				
												m ²				
												m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —					
B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類			
		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他			
		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —			
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月25日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋						2018/1/17	2018/1/17	2018/1/17
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-82
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.02 mSv/h
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
3	可燃物その他	A	04	D	B	2.5 m ²	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
4	ゴム類	C	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.02 mSv/h
5	難燃シート類	C	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0547
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年1月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアX	2018/1/25 8:50	1.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	5 μSv/h	50 μSv/h	エリアX	2018/1/25 8:50	1 m ²			1
	3	1	可燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアX	2018/1/25 8:50	2.5 m ²			1
	4	1	ゴム類	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアX	2018/1/25 8:50	0.1 m ²			1
	5	1	難燃シート類	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアX	2018/1/25 8:50	0.5 m ²			1
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②	③									
	6	モルタルガラ	B	02	D	A	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7						m ²								
	8						m ²								
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0547

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月2日			(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア							2018/1/23	2018/1/23	2018/1/23
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/19	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	難燃物その他	C	04	W	B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0567
				2018/1/23
調整後保管日時		2018年1月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	難燃物その他(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 8:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05		
				06	—	07	—	08	—	09
②	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
			01 難燃物	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
			01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001	
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月2日			(金)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東					2018/1/23	2018/1/23	2018/1/23		
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/1/19	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	紙・ウェス類	A	01	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	W	B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
4	ゴム類	C	01	W	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
5	難燃シート類	C	02	W	B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
注: α有、β有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0568
				2018/1/23
調整後保管日時		2018年1月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 10:00	1 m ²				1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 10:00	3.6 m ²				1
3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 10:00	2.6 m ²				1
4	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 10:00	0.01 m ²				1
5	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 10:00	0.01 m ²				1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
②	B	不 燃 物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	難燃物	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
			01	伐採木	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③							
	6	難燃物その他	C	04	W	B	0.2 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	7	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.2 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	8						m ³					
	9						m ³					
	10						m ³					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	---	01	---	0568

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001		
作業主管理	保管希望日時	2018年1月22日		(月)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事										
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26		
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
線量測定年月日	2017/12/20	測定者				測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
		①	②	③								
	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	A 02	W B	5 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無				
	2	可燃物その他	A 04	W B	0.8 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無				
入 欄	3	難燃物その他	C 04	W B	0.2 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無				
	4				m ³							
	5				m ³							
メモ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0001
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
1	1	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/22 9:40	1.8 m ³			1
2	1	1	可燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/22 9:40	0.8 m ³			1
3	1	1	難燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/22 9:40	0.2 m ³			1
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	10	不燃物その他
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001																															
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月22日		(月)	10:00		承認		審査		作成																													
	作業件名		固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事																																						
	発生場所		GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26		2017/12/26		2017/12/26																												
	作業主管G		建築廃棄物対策グループ				監理員		TEL																																
	元請会社						担当者		TEL																																
	線量測定年月日		2017/12/20		測定者				測定器名		ICW(β)		管理番号		F1-ICW-364																										
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																									
	1		プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 W B		5 m ²		7 μSv/h		7 μSv/h		無																											
	2							m ²																																	
	3							m ²																																	
4							m ²																																		
5							m ²																																		
回収																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月22日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														線量測定内容				測定日	2018年1月22日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4			
線量測定内容																																									
測定日	2018年1月22日																																								
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																						
1		ICW	F1-ICW-158																																						
2																																									
3																																									
4																																									
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																													
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/22 10:20	5 m ²			1																													
									m ²																																
									m ²																																
									m ²																																
									m ²																																
									m ²																																
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																								
	メ																																								
	モ																																								
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																												
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																												
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																												
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																												
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																												
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																												
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																												
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																												
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																													
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																		
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001			
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月23日		(火)	9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事											
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26			
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
G	線量測定年月日	2017/12/20		測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
	1	紙・ウェス類	A	01	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
入 欄 メ モ	3	可燃物その他	A	04	W	B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
	4	ゴム類	C	01	W	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
	5	難燃シート類	C	02	W	B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
	回収												
<div> <div>固体廃棄物管理G記入欄</div> <div>受付</div> </div> <div> <div>受付番号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>01</div> <div>—</div> <div>0003</div> </div> <div>2017/12/27</div> </div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年1月22日</div> <div>10:00</div> </div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。</div>													
<div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年1月22日</div> </div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICW</div> <div>F1-ICW-158</div> </div> <div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>													
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/22 10:00	2 m ²			1	
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/22 10:00	0.1 m ²			1	
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/22 10:00	0.1 m ²			1	
	4	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/22 10:00	0.7 m ²			1	
5	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/22 10:00	0.2 m ²			1		
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	難燃物その他	C	04	W	B	0.2	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無	
	7	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.2	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無	
	8						m ²							
	9						m ²							
	10						m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0003

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001		
作業主管理	保管希望日時	2018年1月23日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事										
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26		
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
1	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	W	B	5 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
2	難燃物その他		C	04	W	B	0.2 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
3	可燃物その他		A	04	W	B	0.3 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
4	塩化ビニール類		B	05	W	B	0.1 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
5							m ³					
メモ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0004
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 9:40	1.8 m ³			1
	2	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 9:40	0.2 m ³			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 9:40	0.3 m ³			1
	4	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 9:40	0.1 m ³			1
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月23日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	可燃物その他	A 04	W	B	5 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2	難燃物その他	C 04	W	B	0.1 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	3	紙・ウエス類	A 01	W	B	0.2 m ³	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	4					m ³				
5					m ³					
メモ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0005
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/1/23 9:40	2.6 m ³			1
2	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/1/23 9:40	0.1 m ³			1
3	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアO	2018/1/23 9:40	0.2 m ³			1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者		測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウェス類	A 01	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	3	可燃物その他	A 04	W	B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	4	ゴム類	C 01	W	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	5	難燃シート類	C 02	W	B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0006
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 10:00	0.7 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 10:00	0.2 m ²			1
	4	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 10:00	0.05 m ²			1
	5	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 10:00	0.2 m ²			1
	6	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/23 10:00	0.5 m ²			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③							
	6	難燃物その他	C	04	W	B	0.2 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	7	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.2 m ³	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	8						m ³					
	9						m ³					
	10						m ³					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0006

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	7	1	塩化ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/23 10:00	0.4	m ³			2
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	06 不燃物その他
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 —	11 —
	C 難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	16 —
		02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	06 —	07 —
	D 伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	06 —
		02 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001			
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事											
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26			
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364			
※カテゴリー	No.	保管物名				※カテゴリー		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③									
	1	紙・ウェス類	A 01	W	B	1.5	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	W	B	1.5	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無	
	3	可燃物その他	A 04	W	B	1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無	
	4	ゴム類	C 01	W	B	0.5	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無	
メ モ	5	難燃シート類	C 02	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無	
	回収												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0007
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h					1.8	m ²			
メ モ	1	1	紙・ウェス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/24 9:20	1.8	m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/24 9:20	0.9	m ²			1
	3	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/24 9:20	0.4	m ²			1
	4	1	ゴム類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/24 9:20	0.3	m ²			1
	6	1	難燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/24 9:20	0.5	m ²			2
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
C	難燃物	01	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—				
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③							
	6	難燃物その他	C	04	W	B	0.2 m ²	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	7	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.2 m ²	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	8						m ²					
	9						m ²					
	10						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0007

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001	
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年1月26日			(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東							2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	紙・ウェス類	A 01	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
	2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A 02	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
	3	可燃物その他	A 04	W	B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
4	ゴム類	C 01	W	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
5	難燃シート類	C 02	W	B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
メモ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2017/12/27
高2018	—	01	—	
調整後保管日時		2018年1月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-120	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 10:20	1.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 10:20	0.1 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 10:20	1.3 m ²			1
	6	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 10:20	1.5 m ²			2
	7	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/24 10:20	0.4 m ²			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主管 G記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	6	難燃物その他	C	04	W	B	0.2 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	7	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.2 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	8						m ²				
	9						m ²				
10							m ²				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0008

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
	履歴												

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001	
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年1月26日			(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア 北東					2017/12/26	2017/12/26	2017/12/26		
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
1	紙・ウェス類	A 01	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A 02	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
3	可燃物その他	A 04	W	B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
4	ゴム類	C 01	W	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
5	難燃シート類	C 02	W	B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無			
メモ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				2017/12/27
高2018	—	01	— 0009	
調整後保管日時		2018年1月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-120	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
3	1	可燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/24 10:40	1 m ²			1	
6	1	難燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/24 10:40	0.5 m ²			2	
7	1	塩化ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/24 10:40	1.3 m ²			2	
											m ²				
											m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有				履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③							
	6	難燃物その他	C	04	W	B	0.2 m ²	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	7	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.2 m ²	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	無		
	8						m ²					
	9						m ²					
	10						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0009

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ搬運し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月22日		(月)	11:00		承認		審査		作成										
	作業件名		固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事																			
	発生場所		GO-17、GP-17エリア 北東						2017/12/26		2017/12/26		2017/12/26									
	作業主管G		建築廃棄物対策グループ				監理員		TEL													
	元請会社						担当者		TEL													
	線量測定年月日		2017/12/20		測定者				測定器名		ICW(β)		管理番号 F1-ICW-364									
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率						
	1		木材類			A 03 W B		5 m ²		7 μSv/h		7 μSv/h		無								
	2							m ²														
	3							m ²														
4							m ²															
5							m ²															
回収																						
<div> <div>固体廃棄物管理G記入欄</div> <div>受付</div> </div> <div> <div>受付番号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>01</div> <div>—</div> <div>0010</div> </div> <div>2017/12/27</div> </div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年1月26日</div> <div>9:00</div> </div> <div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。</div> </div>																						
<div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年1月26日</div> </div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICW</div> <div>F1-ICW-158</div> </div> <div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>																						
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1	1	木材類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/1/26 9:35		5 m ²						1	
															m ²							
															m ²							
															m ²							
															m ²							
															m ²							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																						
※カテゴリ																						
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —										
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —										
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類										
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他										
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —										
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —										
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —										
		②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013204 - 0001																											
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月24日			(水)		11:00			承認		審査		作成																								
	作業件名		固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事																																				
	発生場所		GO-17、GP-17エリア 北東										2017/12/26		2017/12/26		2017/12/26																						
	作業主管G		建築廃棄物対策グループ					監理員				TEL																											
	元請会社							担当者				TEL																											
	線量測定年月日		2017/12/20		測定者				測定器名		ICW(β)		管理番号		F1-ICW-364																								
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率																						
	1		木材類			A 03 W B			5 m ²		7 μSv/h		7 μSv/h		無																								
	2								m ²																														
	3								m ²																														
4								m ²																															
5								m ²																															
回収																																							
<div> <div>固体廃棄物管理G記入欄</div> <div> <div>受付</div> <div> <div>受付番号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>01</div> <div>—</div> <div>0011</div> </div> <div>2017/12/27</div> </div> </div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年1月26日</div> <div>10:00</div> </div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。</div> </div>																																							
<div>線量測定内容</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月26日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td>F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																測定日	2018年1月26日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICW	F1-ICW-158	2				3				4			
測定日	2018年1月26日																																						
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																				
1		ICW	F1-ICW-158																																				
2																																							
3																																							
4																																							
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																											
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 10:35	5 m ²			1																											
									m ²																														
									m ²																														
									m ²																														
									m ²																														
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																							
メ モ																																							
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																										
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																										
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																										
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																										
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																										
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																										
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																										
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																											
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																															
	注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																						
	注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																						
	注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0040		
作業主	保管希望日時	2018年1月22日		(月)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)										
	発生場所	Fタンクエリア(GL-11北西)						2018/1/11	2018/1/11	2018/1/11		
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
G	線量測定年月日	2017/12/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-111		
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③								
	1	紙・ウエス、段ボール	A 01	D B	3	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリビニル袋	A 02	W B	0.5	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
入	3	木材、パレット	A 03	D B	0.07	m ²	0.003	mSv/h	0.004	mSv/h	無	
	4	ラミネート品、テープ、ケミカル袋	A 04	D B	0.07	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
	5	Vベルト	C 01	D B	0.01	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
メ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0026
				2018/1/11
調整後保管日時		2018年1月22日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス、段ボール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/22 10:55	1.1	m ²			1	
2	1	プラスチック・ポリビニル袋	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/22 10:55	1.7	m ²			1	
3	1	木材、パレット	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/22 10:55	0.05	m ²			1	
4	1	ラミネート品、テープ、ケミカル袋	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/22 10:55	0.6	m ²			1	
5	1	Vベルト	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/22 10:55	0.1	m ²			1	

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニル類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		
			06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		
			B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニル類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C 難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —				
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票 (別紙)

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	塩ビ配管、継手	B	05	D	B	0.07	m ¹	0.003	mSv/h	0.004	mSv/h	無		
	7	難燃物その他	C	04	D	B	0.8	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
	8							m ²							
	9							m ¹							
	10							m ¹							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0026

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月22日	(月)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/1/15	2018/1/15	2018/1/15		
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	保管物名	①	②	③	5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無
	2					m ²			
	3					m ²			
	4					m ²			
	5					m ²			
メ モ	回収								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0029
				2018/1/15
調整後保管日時		2018年1月22日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/22 9:40	4.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月22日		(月)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務											
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/1/15	2018/1/15	2018/1/15			
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	109			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	1	ビニール類		A	02	D	A	5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	2							m ²					
	3							m ²					
4							m ²						
5							m ²						
回収													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0030
				2018/1/15
調整後保管日時		2018年1月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h									
	1	1	ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/22 10:20	4.2	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001			
作業主	保管希望日時	2018年1月23日		(火)	9:30		承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務											
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/1/15	2018/1/15	2018/1/15				
	作業主管G	総務グループ			監理員			TEL					
	元請会社				担当者			TEL					
線量測定	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	109			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③									
	1	段ボール	A	01	D	A	5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無			
	2						m ²						
入 欄	3						m ²						
	4						m ²						
	5						m ²						
	回収												
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	段ボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/23 10:30	5 m ²			1	
									m ²				
									m ²				
									m ²				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
01	伐採木(幹・根)			02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0031
				2018/1/15
調整後保管日時		2018年1月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年1月23日	(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/1/15	2018/1/15	2018/1/15		
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	109	
記入欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	段ボール	A 01	D A	5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
5				m ²					
メモ	回収								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0032
				2018/1/15
調整後保管日時		2018年1月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	段ボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/23 10:45	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月24日		(水)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)						2018/1/18	2018/1/18	2018/1/18	
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/17	測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	002	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)			① 02 D A	4 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
2					m ²						
3					m ²						
4					m ²						
5					m ²						
メ モ	金属コンテナ(1m3)ごと持込となり、詰め込みはありません。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	01	—	0047	2018/1/19
調整後保管日時		2018年1月24日		9:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	
				06	—	07	—	08	—
B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

計上No.	6010112	-	0001
-------	---------	---	------

作業主	保管希望日時	2018年1月24日				(水)		10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務													
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)								2018/1/18	2018/1/18	2018/1/18			
	作業主管 G	総務グループ					監理員				TEL				
	元請会社						担当者				TEL				
管理	線量測定年月日	2018/1/17		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号	002		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
				①	②	③									
	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)		A	02	D	A	4	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
	2								m ²						
3								m ²							
4								m ²							
5								m ²							
メモ	金属コンテナ(1m3)ごと持込となり、詰め込みはありません。														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	01	—	0048	
調整後保管日時		2018年1月24日			2018/1/19 10:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類(金属コンテナ収納済)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/24 10:40	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月26日	(金)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)			2018/1/18	2018/1/18	2018/1/18	
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/1/17	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			β・α 汚染の有無	
	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	4 m ²	5 μSv/h
	2						m ²	
3						m ²		
4						m ²		
5						m ²		
金属コンテナ(1m3)ごと持込となり、詰め込みはありません。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0049
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年1月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 9:30	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木										
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月26日		(金)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)						2018/1/18	2018/1/18	2018/1/18		
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/1/17	測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	002		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	ペットボトル (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	3 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	2	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	1 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	3						m ³					
4						m ³						
5						m ³						
金属コンテナ(1m3)ごと持込となり、詰め込みはありません。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	01	—	0050	2018/1/19
調整後保管日時		2018年1月26日			10:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
2	1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/26 10:00	1 m ³				1
								m ³				
								m ³				
								m ³				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05		
				06	—	07	—	08	—	09
②	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
			C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
			状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。